

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		生涯学習・スポーツ課	事業No.	332
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	単年度
開始		S36	終了	
事務事業名 社会体育学校開放施設整備事業				
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			教育振興基本計画
				スポーツ推進計画
	法令・例規等			
事業目的		対象	学校開放施設（体育館・校庭・武道場）の数：（施設56）	
		意図	利用者が安全で良好な環境で利用できるよう施設整備します。	

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲で、社会体育の利用のために市民に開放し、スポーツの振興を図りました。各学校の照明機器及びスポーツ器具等の整備を行い、施設の充実を図りました。 （伊賀良小学校グラウンド・丸山小学校グラウンド・上久堅小学校グラウンド・竜峡中学校グラウンド・松尾小学校グラウンド・高陵中学校体育館）		照明修繕等				1,055					
				その他の経費				499				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	不具合の発生による施設の休止日数		日	0	0	0	0	0	0			
1年度決算(千円)	予算額		1,631	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		1,554									
	財源の状況	国庫支出金		0								
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		0								
一般財源		1,554										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	3	11	2	1,631	1,554	社会体育学校開放施設整備費（単独）
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	照明機器やスポーツ器具の不具合が発生し社会体育の利用に支障が生じることがあります。
上記の課題解決のための有効策	公民館・学校と連携し、緊急性・安全性に配慮しつつ整備を進めていく必要があります。
次年度に向けての取り組み	公民館・学校と連携し、施設の状態を良好に保つよう整備に努めます。